

3 成果指標の動向

成果指標について

○ 指標設定の基本的な考え方

第2期札幌市教育振興基本計画では、第2期札幌市教育アクションプラン（前期）の進行管理の参考とするため、成果指標を設定しました。成果指標の設定に際しては、基本施策ごとに、市民への分かりやすさを考慮したほか、該当する基本施策において代表的（象徴的）であるかといった要素などを加味しています。

○ 数値の説明

▶ 当初値... R5年10月までに把握できた数値（調査時期の都合上、R4年度の数値を当初値とした指標もあります。）

▶ 目標値... R11年度までに到達を目指す数値

なお、目標値は、札幌市教育アクションプラン（後期）における成果指標の動向や、全国的な動向、関連する施策や事業の特性などを勘案した上で、努力目標的要素も加味して設定しています。

▶ 達成区分...数値の変動の幅にかかわらず、R7年度の数値が、当初値から目標値に対し、どのように動いたかを示しています。

達成区分：「◎」到達した「➤」近づいた「—」変わらない「✕」遠ざかった

(1) 基本的方向性 1 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進

基本施策 1－1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進

夢を描き、実現しようとする意欲や、地域や社会の課題に対して解決に向かう意識等が醸成されるよう、主体的に考え行動する力を育む教育活動を推進します。

成果指標の動向

●自分の目標をもって生活している子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	76.1	78.1				80	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

●疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	78.1	79.2	80.9				85	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

施策の評価と今後の方向性

各学校において「課題探究的な学習」と「自治的な活動」を二本柱として「学ぶ力」の育成を図ってきたことで、子どもたちが自らの探究や活動に見通しをもって進むことができたため、「自分の目標をもって生活している子どもの割合」、「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合」とともに目標値に近づいた。

目標値到達に向けて、今後も「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン※9」を推進し、授業や活動等の中に「本物の経験」を生み出すための場を創出していく。

基本施策 1－2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進

しなやかさを育み、自分らしさを大切にするために、他者との関わりの中で、自他の尊重を基盤とし、豊かな人間性や社会性を育む教育活動を推進します。

成果指標の動向

●自分にはよいところがあると考えている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	77.8	82.4	85.1				90	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

●自分が必要とされていると感じている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	61.6	68.2	72.5				80	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

施策の評価と今後の方向性

R 4年度に策定したさっぽろっ子宣言「プラスのまほう※10」に基づいて、各学校が「人間尊重の教育」に関する取組を充実させたことにより、「自分にはよいところがあると考えている子どもの割合」、「自分が必要とされていると感じている子どもの割合」とともに目標値に近づいた。

目標値到達に向けて、引き続き「人間尊重の教育」に関する取組の推進及び充実を図る。特に、「自治的な活動」においては、コミュニティ・スクールの仕組みと関連を図りながら、子どもが、自分の思いや願いを基に、学校づくり、人間関係づくり、環境づくりなどにおいて、よりよい変化を生み出せたと実感できるよう、取組を充実させていく。

※9 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力である「学ぶ力」を育成するための総合的な計画。

※10 札幌市内の全小中学生の声を集約してつくられた「さっぽろっ子宣言」の合言葉。子どもたちの「前向きに考え、互いを大切にして、個性を認め合い、笑顔があふれるように」という願いを込めて策定された。

基本施策1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実

様々な環境にある一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行い、可能性を最大限に伸ばし、豊かな生活を送ることができるよう、教育内容の充実を図ります。

成果指標の動向

- 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どものうち、個別的教育支援計画を支援に生かすことのできた子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	43.3	44.5	46.0				80	↗

出典：札幌市学校教育指導の実態調査（小中学校用）

- 学びのサポーター※11との連携等により、支援の充実を図ることができた学校の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	92.0	100	100				100	◎

出典：「学びのサポーター活用事業」に係る活用状況調査について

施策の評価と今後の方向性

個別的教育支援計画の活用については、支援を要する子どもの増加に対し、計画の作成率が低いため、全体の割合は46%にとどまっているが、作成された計画の活用率は92.3%に上昇している。R 7年度中に作成対象を通常の学級に在籍する子どもまで拡大した。この状況を踏まえ、今後も研修の実施や巡回相談員の活用を通じ、計画の作成と活用の更なる促進を図る。

学校のニーズに応じて学びのサポーターの活用時間数の調整等を行っていることから、「学びのサポーターとの連携等により、支援の充実を図ることができた学校の割合」は100%を維持している。今後も引き続き、適切な配置を心掛けながら、よりきめ細やかな支援体制を目指した運用を推進する。

基本施策1-4 誰もが安心して学びに向かうことのできる支援の充実

いじめや不登校などの未然防止、早期発見のために、積極的な生徒指導を実施していくとともに、教育相談支援体制の充実や教育に係る経済的負担を軽減するための支援を進めます。

成果指標の動向

- 「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	86.8	90.7				100	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

- 先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	61.5	66.8				90	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

施策の評価と今後の方向性

「心の健康観察」アプリを活用して、児童生徒の不安や悩みを複数の教職員で共有・対応できるようになったことや相談機能にSCを設定する学校が増えたこと、教育支援センターオンラインコースの開設日を週3日から週4日に拡充したことなどによって、「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合、「先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合」とともに目標値に近づいた。

R 8年度は、「心の健康観察」アプリにおける相談窓口周知や、学校規模に応じたSCの配置時間数の設定、小学校における相談支援パートナーの配置時間拡充など、安心して学びに向かうことのできる環境づくりに努め、子どもたちが先生や家族以外にも相談できる大人がいると実感することで、目標値に近づけていきたい。

※11 市立小中高等学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、学習活動や学校生活を行ううえで必要となる支援を行う有償ボランティアのこと。

(2) 基本的方向性2 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充

基本施策2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進

豊かな自然や文化を継承し、それらを活用した学びの展開や市民と協働した活動を通じ、ふるさと札幌への誇りと愛着を醸成する教育活動を推進します。

成果指標の動向

- 「札幌っていいな」と感じている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	89.6	90.6				90	◎

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

- 振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	72.6	75.0	78.6				90	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

施策の評価と今後の方向性

各学校が札幌の特色を生かした体験的な学習等を推進したことで、子どもが札幌の特色や魅力を実感するとともに、自らの成長を自覚することができたため、「札幌っていいな」と感じている子どもの割合」は目標値に到達、「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合」は目標値に近づいた。

「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合」については、目標値達成に向けて、今後は一層、体験的な学習等における振り返りが効果的に位置づくよう、各学校に働きかけていく。

今後も引き続き、他局とも連携しながら、札幌の特色を生かした教育活動の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となって、子ども自身がふるさと札幌のよさを実感できるような教育を推進していく。

基本施策2-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進

子どもたちの健やかな成長を支えるため、保護者の不安や悩みに寄り添う取組や、地域で学びふれあう機会の充実を図り、家庭・地域の教育力向上を支援する取組を推進します。

成果指標の動向

- 家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	83.8	87.4				90	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

- 家庭教育事業への参加が、今後の家庭教育に役立てることができると感じた市民の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	94.7	90.2				90	◎

出典：家庭教育学級生アンケート

施策の評価と今後の方向性

学校と家庭や地域をつなぐコミュニティ・スクールの取組が段階的に進み、家庭や地域との関わりが増加したため、「家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある子どもの割合」は目標値に近づいた。目標値達成に向けて、子どもが家庭や地域の人と関わることを通じて、認められ、支えられていることを実感できるよう取組の充実を図る。

「家庭教育事業への参加が、今後の家庭教育に役立てることができると感じた市民の割合」は、学習会の内容等に左右される部分もあり、R6年度に比べ4.5%の減少が見られたものの、保護者が家庭教育学級等への参加を通じて、子育てに関する知識を得て家庭内で実践したり、他の保護者同士の交流により不安感や孤立感が軽減するなどしたため、目標値に到達した。今後は、引き続きオンラインも活用した多様な学習機会を提供するとともに、学校・PTA双方への支援を充実させていく。

基本施策2－3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進

多様な地域人材や様々な団体・機関との連携・協働により、体験活動をはじめとする豊かな学習機会を提供できるよう、地域資源を活用した学びや子どもの成長を支える取組を推進します。

成果指標の動向

●地域学校協働活動に参加している子どもの年間延べ参加者数（人）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	13,061	47,150	56,095				53,000	◎

出典：個別活動実施報告書

●自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	－	80.4	84.3				90	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

施策の評価と今後の方向性

地域学校協働活動については、未実施校・一般職員向けの広報誌発行等により認知度が向上し、実施校数が過去最大となった。また、授業と連携した活動が増えたことで、学級全員の参加が確保され、参加人数の大幅な増加につながった。今後は、実施校拡大に向けて未実施校に対する普及・啓発を進めるほか、活動内容の充実に向けて既存校に対する研修等を実施する。

学校と家庭や地域をつなぐコミュニティ・スクールの取組が段階的に進み、「自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合」は目標値に近づいた。R 10年度にかけて導入校を拡大していくとともに、取組の質的向上を目指していく。

基本施策2－4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実

生きがいを持って豊かな人生を送ることができるよう、誰もが生涯を通じて学び続けられる場の充実とともに、学んだ成果を生かすことのできる機会の充実を図ることにより、「学び」と「活用」の循環を支えます。

成果指標の動向

●生涯学習をしている市民の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	76.2	76.4	80.7				80	◎

出典：第2次戦略ビジョンに係る市民意識調査

●これまでに学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	－	75.2	82.7				80	◎

出典：札幌市生涯学習センターが実施する市民カレッジの受講者アンケート

施策の評価と今後の方向性

「生涯学習をしている市民の割合」については、現状の取組により目標値に到達した。これについては、市民にとって生涯学習が身近なものとして定着してきたことに起因すると捉えている。今後も引き続き、市民のニーズや身近に取り組める環境等を検証しながら、多くの市民が生涯学習に取り組みたくなる工夫を検討することにより、生涯学習の裾野を拡大していく。

「これまで学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合」は、市民に対して適切に学習・活動機会を提供したり、関連する情報を提供をしたりすることができたことにより、目標値に到達した。今後、学んだ成果を生かすことができる場所や活動の充実に取り組むなど、市民の学習活動を一層推進していく。

(3) 基本的方向性3 社会の変化に対応した教育環境の充実

基本施策3-1 安全・安心な教育環境の整備

安全教育と子どもの安全管理の推進を図るほか、教育を取り巻く環境変化を踏まえながら、子どもたちや市民が安心して充実した教育機会を得られるよう、一人一人や家庭、地域の状況に合わせた教育環境を整えます。

成果指標の動向

- 自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	89.9	92.0				100	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

- 市立園・学校におけるバリアフリートイレの整備割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	63.4	88.5	98.7				100	↗

出典：本市整備状況

- 普通教室等へ冷房設備を整備した市立園・学校の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	0	5.1	38.3				100	↗

出典：本市整備状況

施策の評価と今後の方向性

各学校が作成する学校安全計画に、「生命（いのち）の安全教育」や熱中症対策等を確実に位置付けるよう周知したり、各学校が作成する危機管理マニュアルの参考となるよう、ヒグマ出没時の具体的な対応手順を示したりしたことで、各学校の安全教育の充実が図られた。その結果、「自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がなされていると考えている子どもの割合」は目標値に近づいた。今後も、学校安全計画や危機管理マニュアルが有効に活用され、安全教育がより一層充実するよう、適切な時期に作成・見直しに関する周知を継続していく。

バリアフリートイレについては、一部の学校について入札不調により整備年度をR8年度に延期したが、概ね計画どおりに整備を進めることができた。

普通教室等への冷房設備については、R9年度末の整備完了に向けて、引き続き取組を継続する。

基本施策3-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備

ICTを活用して情報活用能力を育成するとともに、教育データを利活用しながら、様々な学びや支援へのニーズに対応する教育環境の整備を進めます。

成果指標の動向

- 情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	93.1	93.6				90	◎

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標

- 授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	81.9	82.1	83.9				100	↗

出典：教育の情報化の実態等に関する調査

施策の評価と今後の方向性

「情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている子どもの割合」は目標値に到達した。今後も、子どもが情報を主体的に捉えながら、適切に収集・整理・分析・発信等ができる情報活用能力の育成を図る。また、子どもがICTの活用の必要性を主体的に判断して端末を持ち帰るなど、日常的な活用を促進するとともに、資料やアプリ等を用いて情報リテラシーを高めるための取組を推進していく。

教育委員会から各学校に対する積極的な働きかけにより、学習場面だけでなく学校生活全体での活用が更に進み、「授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合」は目標値に近づいた。目標値到達に向けて、ICT活用スキル格差を是正するための伴走支援を検討するなど、教員の指導力向上を目指す。

基本施策3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築

デジタル化やグローバル化などの様々な環境変化に対応し、子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の充実を図ります。

成果指標の動向

- 「教職経験に応じた研修」における学びの成果を生かして子どもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	97.6	97.9				100	↗

出典：研修後のアンケート調査

施策の評価と今後の方向性

各研修の協議・演習の場の充実を図り、受講者同士の対話を通してより多くの気づきを生み出すことができる流れを取り入れたことで、「教職経験に応じた研修」における学びの成果を生かして子どもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合」は目標値に近づいた。

今後、より一層教職員の探究的な学びを促進する研修にするため、研修受講者が自身の強みや今後の課題を明らかにする場、また、研修者が自らの課題に応じて研修のテーマを選択し、自ら解決に向けて探究する場を設定する。

基本施策3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実

生涯を通じた主体的な学びを支援するため、健康で豊かな生活につながる学びや地域の課題解決にかかわる学びなど多様な学びが活発に行われる環境の充実を図ります。

成果指標の動向

- 自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	—	82.7	84.4				100	↗

出典：さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン 札幌市全体の共通指標、高校生アンケート

- 図書館の年間延べ来館者数（人）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	2,258,324	2,547,694	2,439,328				3,000,000	↘

出典：札幌市の図書館2025

- 図書館の利用登録がある市民の割合（％）

年度	当初値	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	目標値	達成区分
数値	14.6	14.5	14.7				25	↗

出典：札幌市の図書館2025、札幌市人口統計

施策の評価と今後の方向性

健康診断の精度向上に係る取組、熱中症対策に関する周知等により、「自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合」は目標値に近づいた。今後は、目標値到達に向けて、より精度の高い健康診断の実施の検討、学校環境衛生検査の充実などに努め、その目的や意図を児童生徒等や保護者に周知していく。

「図書館の年間延べ来館者数」は、山の手図書館の大規模改修に伴う休館（R 7 年 9 月～R 8 年 1 月の 5 カ月）と、通常の年末年始休館に加えた機器更新による臨時休館（5 日間）などが主な原因となり減少したと捉えている。大規模改修や機器更新により向上した環境を活かし、引き続き、多種多様な図書展示や行事を実施するほか、市民の学びや課題解決に資する情報提供・調査相談機能の充実を図り、来館者数の回復につなげていく。

また、「図書館の利用登録がある市民の割合」は、中央区民センター図書室が R 7 年 2 月に供用開始となった中央区複合庁舎へ移転したことにより、新規利用者が増加したものと捉えている。今後は、複合化を契機とした新規利用者の定着を図るため、従来の図書館サービスや電子図書館等の非来館型サービスの周知など、引き続き広報の充実に努める。また、更なる利便性向上のため、来館を要しない新規利用登録や更新手続きを可能とする ICT 技術の導入についても検討を進める。